

戯曲「オムレッツ・ハウス」

「第一話 芸能人のプロポーズ」 第五版

作・雨宮大智

「オムレッツ・ハウス 第一話 芸能人のプロポーズ」

対象…中学生〜大学生・一般向け

上演時間…二十分程度

登場人物

山谷静	(四十六才、女性)	…レストランのオーナー
烏丸大吉	(四十二才、男性)	…コック長
富沢よう子	(二十一才、女性)	…コック見習い
中川大和	(二十五才、男性)	…ウェイター
加藤やす男	(四十五才、男性)	…お笑い芸人
三川すず	(二十八才、女性)	…加藤の恋人

舞台しもてから、加藤と三川が入ってくる。

加藤 … 今日は冷えるな。

三川 … ようやく温かいものを食べられるね。

美味しそうな匂いがする。

中川 … いらっしやいませ。どうぞ、こちらへ。

一名さまご案内へ。

中川が加藤と三川を、舞台中央の席に案内する。

加藤 … 何を頼もうか？

三川 … わたし、ご飯物にしようかしら。

加藤 … 僕は、そうだな……。

中川が舞台かみでのキッチンに入っていく。

中川 … 今のお客さま、どこかで見たことがあるなあ。

芸能人じゃないかな。

富沢 … えー、どの方ですか。

富沢がキッチンの入り口から、舞台中央をのぞく。

富沢 … あの人、「チップイン・バーディ」の加藤さんじゃないですか？

烏丸 … どれどれ。あ、そうだ。あれ加藤さんだよ。

中川 .. この町にも芸能人が来ることがあるんだねえ。
お忍びかな？

加藤 .. すいません、注文お願いします。

中川 .. お、ちょっと行ってくる。

中川が舞台中央の客席へとオーダーをとりに入る。

中川 .. それでは、ご注文をどうぞ。

加藤 .. ボンゴレ・ロツソひとつ。

三川 .. 私はオムライスをお願いします。

中川 .. ご注文を復唱いたします。

ボンゴレ・ロツソお一つ、オムライスお一つですね。
しばらくお待ち下さいませ。

中川が舞台かみでのキッチンへ入っていく。

中川 .. オーダー入りました。

ボンゴレ・ロツソひとつ、オムライスひとつ。

富沢 .. ありがとうございます。

加藤 .. 今度、僕の両親とも食事会をしてくれないかな？
君のことを両親に紹介したいんだ。

三川 .. わかったわ。今月末の日曜日はどうかしら。

加藤 … ありがとう。これを受け取ってくれないか。

三川 … これって……。綺麗な指輪じゃない。

加藤 … 僕と結婚してほしいんだ。

三川 … 私で良ければ……。

中川 … 聞いたちゃったよ。

富沢 … どうしたんですか？

中川 … 「チップイン・バーデイ」の加藤さんが、プロポーズしたんだよ。

富沢 … そして結果は？

烏丸 … どうなった？

中川 … オーケーだったそうです。

富沢 … シャンパン付けちゃおうかしら。

烏丸 … いいねえ。この間買ったのがあるな。

中川 … さ、ちゃっちゃと料理を作っちゃいましょう。

富沢と烏丸が、調理をはじめ。

三川 .. こんな素敵なお店でプロポーズされるんで、夢みたい。

加藤 .. きつと気に入ってくれると思ったんだ。

料理も美味しいんだよ。

三川 .. うちの両親も、このお店なら気に入ってくれるかもしれないわ。

富沢 .. ボンゴレ・ロツソ、オムライス、ありがとうございました。

中川 .. 相変わらず、手早いねえ。

では、運んできます。

烏丸 .. これこれ。このシャンパンをつけてあげよう。

中川 .. 気が利きますねえ。

中川が舞台中央のホールに入っていく。

中川 .. お待たせいたしました。

ボンゴレ・ロツソと、オムライスになります。

そして、このシャンパンはお店からです。

ご結婚、おめでとうございます。

三川 .. わあ、嬉しい。ありがとうございます。

加藤 .. すまないね。思いがけないサプライズ、ありがとう。

中川 .. 今後とも、ごひいきに。

舞台かみてから、山谷静オーナーが入ってくる。

山谷 .. 今日のお客さまの入りはどうかしら。

富沢 .. 山谷オーナー、お疲れ様です。

いま、お笑い芸人の「チップイン・バーディ」の加藤さんが来てるんですよ。

烏丸 .. 彼女にプロポーズしたんですよ。

山谷 .. まあ、ホントに？

ご挨拶してこようかしら。

中川が舞台中央からキッチンへと入ってくる。

中川 .. 山谷オーナー、お疲れ様です。

芸能人の加藤さんが来てるんですよ。

ご注文は、ボンゴレ・ロツソでした。

山谷 .. 今聞いたところよ。

プロポーズしたとか。

中川 .. そうなんですよ。

いや、勇気がありますね。盛り上がる。

山谷 .. 挨拶をしてみてくださいよう。

山谷がキッチンから舞台中央のホールへ入っていく。

山谷 .. こんばんは。

当レストラン、「オムレツ・ハウス」へよくおいで下さいました。

加藤 .. 絶品パスタを頂いております。

三川 .. オムライス、すごくおいしいです。

山谷 .. ありがとうございます。

ご結婚なされたとのこと。おめでとうございます。

加藤 .. 雰囲気のある、いいお店だから、プロポーズの場所を選んだんですよ。

山谷 .. ありがとうございます。

幸せな結婚生活になるといいですね。

三川 .. 私、すごく幸せです。

山谷 .. お二人に幸運が訪れますように。

それでは。

山谷が舞台かみでのキッチンへ入っていく。

山谷 .. プロポーズの場を選んでもらえて、私たちは幸せね。

烏丸 … これからも、みんなでいいお店にしていきたいと思います。

中川 … いい料理といいお酒。あとは心をこめた「おもてなし」ですね。

富沢 … わたし、調理をもっと頑張ります。

山谷 … 幸せを運ぶコウノトリのような、そんなレストランになるといいわね。

中川 … もう、なってますよ。

烏丸 … さあ、後片付け、後片付け！

山谷 … みなさん、今日はお疲れ様でした！

(幕)